

平成 23 年度京都府小学校学力診断テスト実施及び結果の概要

活用する力に伸び 「ことばの力」の育成を目指し、授業改善進む



平成 23 年 7 月 8 日
学 校 教 育 課

- 学力調査** 基礎・基本に関する学習内容 ほぼ定着
4 年国語 基礎・基本に一部課題（ローマ字）
活用に関する問題にも伸び
- 質問紙調査** 家庭での学習習慣の定着の取組も改善 規範意識の低さは依然課題
- 改善プラン**
- 総合教育センター「小学校学力の状況分析・活用講座」を実施
 - 教育課程京都府研究大会で、授業改善について協議
 - 学力調査と質問紙調査の関連を分析
 - 「学力診断テストを活用した学力の経年比較に関する調査研究」を活用して引き続き、分析を進める。

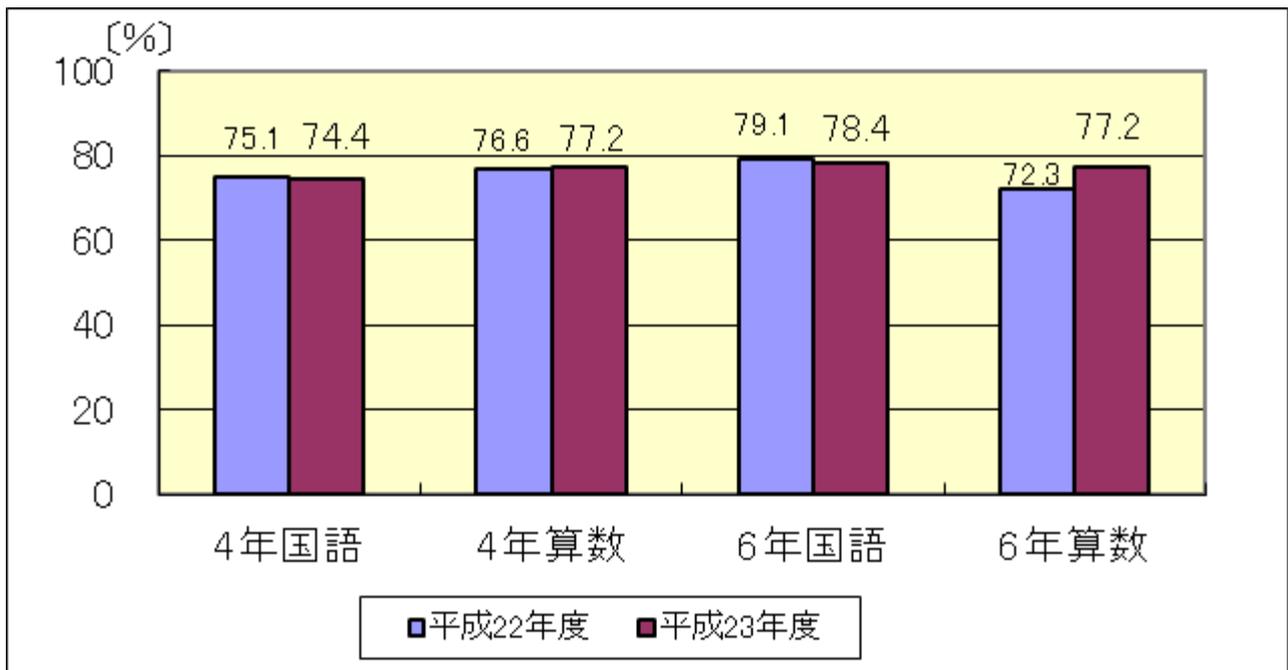
- 1 実施日 平成 23 年 4 月 11 日（金）～18 日（月）
- 2 実施対象 府内全小学校（238 校）特別支援学校（1 校）の第 4 学年及び第 6 学年児童
- 3 実施教科及び受検者数

第 4 学年	国語	11, 065 人	算数	11, 063 人
第 6 学年	国語	11, 167 人	算数	11, 167 人

4 京都府の状況 ※数値はすべて正答率

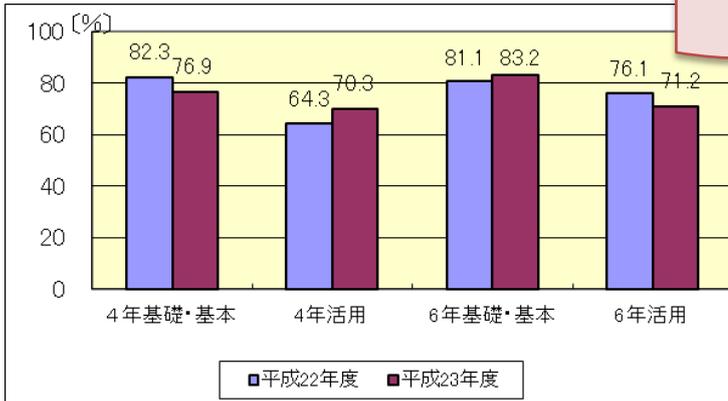
(1) 学力調査

総合

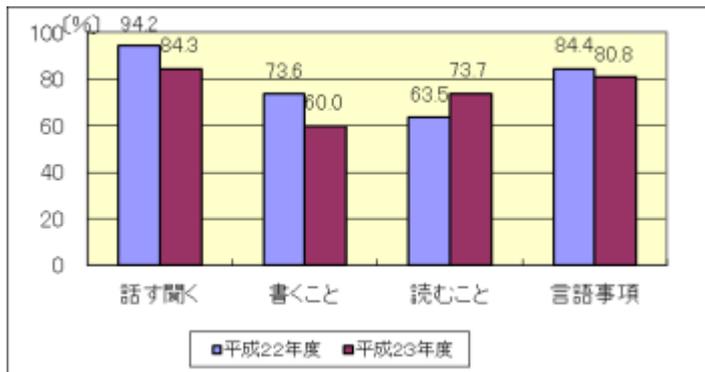


国語

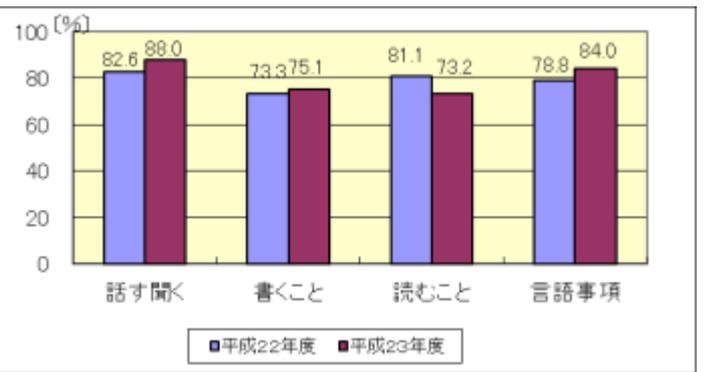
基礎・基本に関する問題に一部課題
 4年（ローマ字の問題）
 活用にに関する問題 70%を超える
 領域別 4年「書くこと」の一部に課題
 6年「書くこと」に伸び
 *「ことばの力」の育成を目指し、言語活動を重視した授業改善が進んでいる成果が見られる。



4年

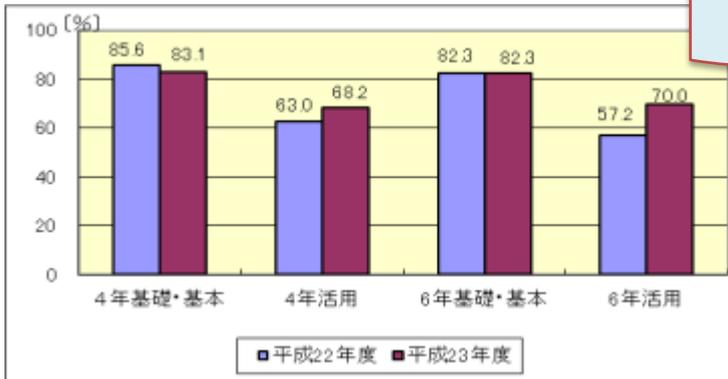


6年

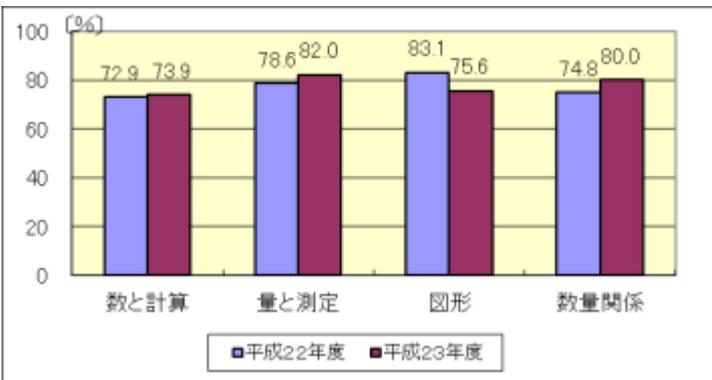


算数

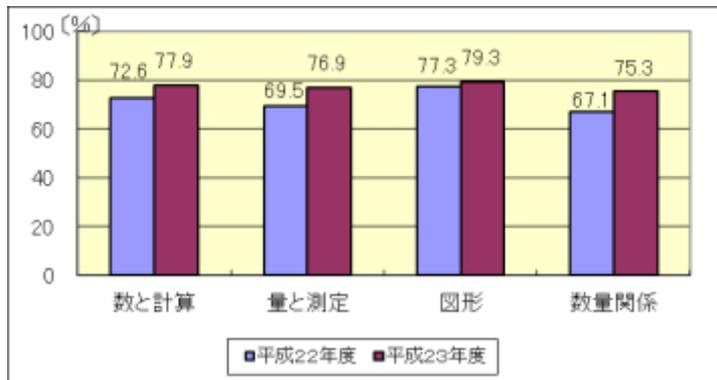
基礎・基本に関する問題
 4年、6年ともおおむね定着
 活用にに関する問題
 4年、6年とも伸びが見られる。
 領域別 おおむね伸びがみられる。
 *算数的活動を取り入れた授業改善の成果が見られる。更に活用する力の育成の取組を充実していく。



4年



6年



診断テストの分析及び活用

各学校には、個別データ等も含まれる資料データが配布され、児童一人一人の学力の分析・授業改善の方策の検討を進めている。また、総合教育センターにおいて、「小学校学力の状況分析・活用講座」を実施し、各学校に支援を行っている。今年度は、7月5日（火）・8日（金）に実施

(2) 質問紙調査

平成 23 年度の小学校学力診断テストでは、質問紙調査も実施

この中で「明日の京都」や教育振興プランに示している数値目標に関する項目についての結果(一部)

※21 年度・22 年度の調査結果は「全国学力・学習状況調査」による。㉑国は、21 年の全国の平均である。

1 算数の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つと思いますか。 **小6**

2 普段1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか。 **小6**



質問項目「算数の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つと思いますか。」では、教育振興プランに掲載している平成 21 年度の調査（全国学力・学習状況調査）では、当てはまる・どちらかといえば当てはまるを合わせた、87.5%が、今回の調査では、94.3%になり、また、「学校の授業時間以外の勉強時間が 30 分に満たない児童の割合」についても平成 21 年度の調査の 17.5%から 10.2%となった。学習意欲の向上や家庭での学習習慣の定着の取組も進んでいると考えられる。

3 朝食を毎日食べていますか。 **小6**

4 学校のきまりを守っていますか。 **小6**

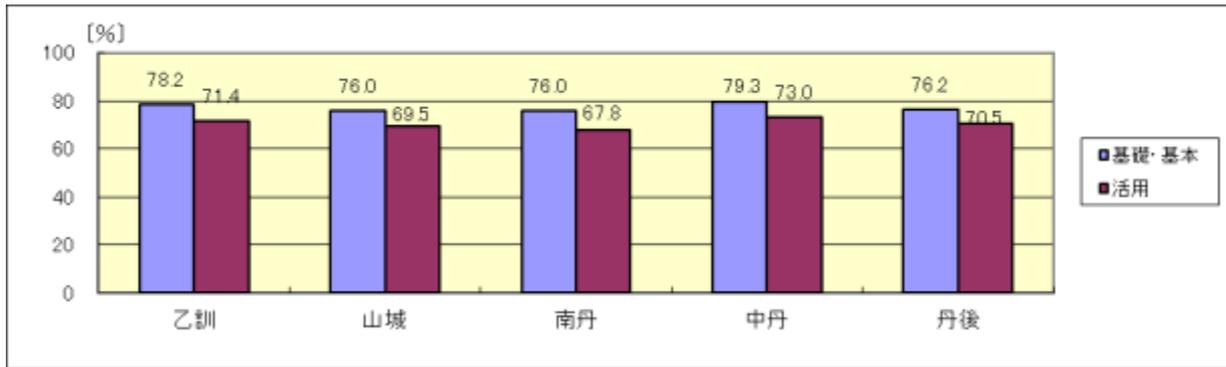


質問項目「朝食を毎日食べていますか。」では、「食べている。」の割合については、変化がない。また、「学校のきまりを守っていますか。」については、当てはまる・どちらかといえば当てはまるを合わせて、平成 21 年度全国 88.5%に比べ、82.8%とやや低い。社会体験活動の充実や非行防止教室を積極的に実施する等、児童がルールやマナーを学習する機会を増やして社会性をはぐくむ必要がある。

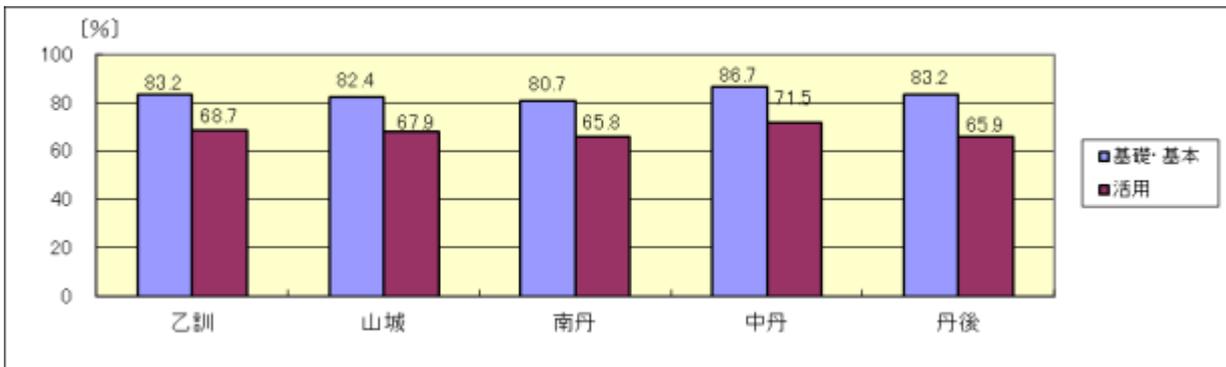
5 教育局別の状況

※数値はすべて正答率 [%]

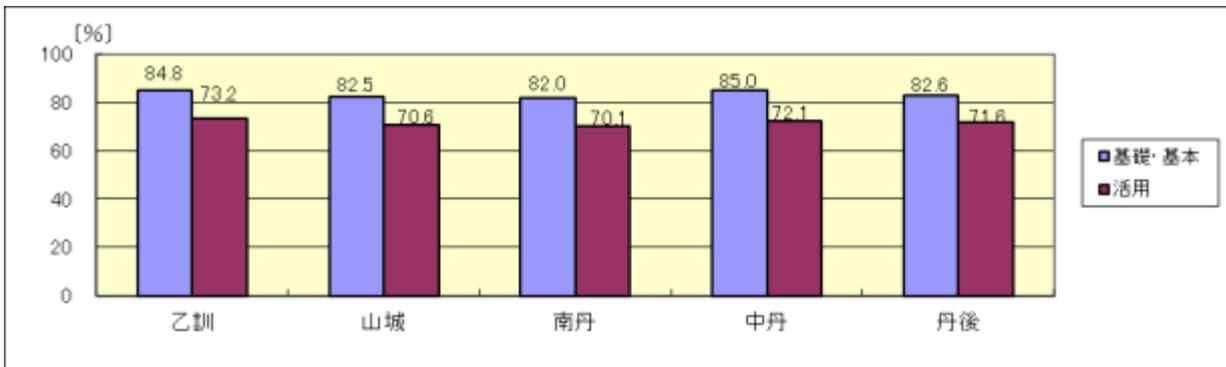
4年【国語】



4年【算数】



6年【国語】



6年【算数】

